



新^{しん} 緑^{みどり} ニュース

病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん

医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL. 045-984-6216 (直通)



2024年 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

横浜新緑総合病院に院長として赴任し2回目の正月を迎えました。
463名の職員を代表してあいさつさせていただきます。

さて今年は横浜新緑総合病院にとって飛躍の年になると予想しております。原稿を書いている時点で8名の医師が仲間として加わる事が決まっております。

整形外科には、股・膝・肩関節を専門とされる2名の先生が入職されます。これで整形外科の領域でほとんどの部分を診療できることとなります。

消化器内科には新進気鋭の医師2名が加わり、内視鏡による診断と治療が充実します。

内科には循環器領域でエコー（超音波）を専門とする先生が加入します。

乳腺外科は私たちの地域で専門医が不足している分野です。そこでもう一名診断から治療まで全般を担える先生をお迎えします。

脳神経外科には、血管内治療を得意とされる先生が一名加わり、現在の一名体制から二名体制へと倍増します。さらに救急医学専門医で脳神経外科の治療を担当する若手の先生が加わります。

このように多くの先生をお迎えしたことは近年なく、横浜新緑総合病院は急性期病院としてますます診療を充実してまいりますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。



病院長 松前 光紀



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も世界では胸が痛むようなニュースが多く、落ち着かない一年であったように思います。日本のニュースでは人口減少による「働き手不足」の話題を耳にすることが多くなりました。病院でも同様に、限られた人材で医療の質、サービスの質を低下させず、維持・向上させるためにはチーム力を最大限発揮することが求められます。

チーム力発揮に向けては、職種間の連携、協働、より良いコミュニケーションを心がけ、電子化が可能な作業については積極的に改善するなど効率的、効果的運営を目指し職員一丸となって取り組んでおります。これからも地域の皆様にとって頼れる、お役に立てる病院であるために医療、介護、福祉のコミュニケーションをこれまで以上に深め、地域全体が一つのチームとして皆様のご期待にお応えできるよう取り組んで参ります。

新たな一年が皆様にとって健康で幸多き年になることを心より祈願致しまして年頭のご挨拶いたします。



副院長 兼 看護部長 天野 友子



当院の放射線技師が、救命処置を行い藤沢消防局より感謝状をいただきました！

放射線科 係長 診療放射線技師 金森 正典（写真中央左）

5月1日、バレーボールをしていた50代の男性が横たわっている事に気づきました。かけよって呼吸と脈を確認すると、心肺停止状態でした。すぐに救急車の手配とAEDをもってくるようお願いし、電気ショックと心臓マッサージを行いました。男性は息を吹き返し、脈が戻ったところで救急車が到着。救急車に同乗し、近隣の病院に搬送する車内で、状況を救急隊に説明しました。

その後、数日して男性は意識が戻り、障害が残る事もなく、社会復帰されたとの事でした。



当院では、全職員が年1回は、人形を使用したBLS講習

（Basic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のこと。）を受講しています。この講習のお陰で、放射線技師の私でも、すぐにとるべき行動ができ、素早く救命活動をする事ができました。

これからも定期的にシミュレーション講習を受けて、的確な処置ができるよう精進していきたいと思います。

今後も地域の2次救急拠点病院として救急業務に邁進してまいります。



SDGsの取り組みについて

医療法人社団 三喜会として神奈川県が募集する「かながわSDGsパートナー」の登録が認証されました。

横浜新緑総合病院は、横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」のstandard認証を受けました。

当院は今後も行政と連携して、医療・介護サービスを通じた持続可能な社会の形成に邁進してまいります。

横浜市SDGs認証制度

Y-SDGs
- standard -



地域の救護活動に参加しました

12月10日に「みどりWell-beinGood! リビングラボ」と竹山連合自治会主催の子どもから高齢者まで幅広い世代で楽しみ、交流を深める目的のイベントが竹山小学校にて開催されました。

当院はイベントの一環である“ウォーキングフットボール”の救護班として参加いたしました。大きなけがもなく、笑顔が多くみられ、笑い声が飛び交う大変活気のあるイベントでした。

今後とも地域活性化プロジェクトに協力をしていく所存です。



地域向け健康講座を開催します。

2024年2月17日（土）10：00～11：00 横浜市長津田地域ケアプラザ（045-981-7755）横浜新緑総合病院外科・消化器外科部長 平山亮一医師が「**知っておきたいお腹のこと～その膨らみ、痛みそけいヘルニア（脱腸）かもしれない～**」を講演いたします。ご興味がある方は長津田地域ケアプラザへ電話でお申し込みいただけます。

WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

